学校番号	３１５

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新社会と情報　新訂版　（実教出版）						
副教材等	３０時間でマスター　Office2016　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「社会と情報」は実技科目です。実践的で体験的な学習が中心となります。コンピュータやネットワークについて実践的に学び、機械への理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、自分の考えを表現し、分かりやすく発信できる態度を身に付けましょう。
・コンピュータを使った課題作成が中心です。タイピングの練習をしっかりと行いましょう。

２　学習の到達目標

・情報の特徴と社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークを適切に活用して情報を効率的に収集・処理・表現することができる。
・情報機器や情報通信ネットワークを活用して、効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的、多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度。 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度。 ・情報モラルや情報に対する責任について考えて行動しようとする態度。 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度。	・様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉える力。 ・問題の発見、解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力。 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力。	・情報と情報技術を活用するための基礎、基本的な技能を身に付ける。 ・目的に応じて、情報及び情報技術を適切に扱っている。	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見、解決するための方法についての理解。 ・情報に関するほう・制度やマナーの意義を含む、情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解。

評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報社会とわたしたち	・文字・文章の入力 ・情報社会とは 　－知識情報社会 　－コミュニケーションの変化 ・情報社会の光と影 　－生活基盤としての情報社会 　－サイバー犯罪 ・情報を扱う責任 　－個人情報の管理 　－責任とモラル	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ 	 ○ ○ 	a:情報社会の利便性と課題に興味を持ち、学習に積極的に取組もうとしている。 b:情報を扱う責任について、自身の日常に照らして考え、文章で表現することができる。 c:文字を正しく入力し、文章を正確に作成することができる。 d:基本的に浅いバー犯罪と個人情報の扱いについて、正しく理解している。	授業観察 課題提出 小テスト 実技考査
1学期	情報機器とディジタル表現	・文書作成 ・情報のディジタル化 　－情報機器の種類 　－情報機器の活用 ・ディジタル表現 　－二進数 　－文字・音声の表現 　－画像・立体の表現 　－動画の表現	○ ○ ○ 	○ 	○ ○ 	 ○ ○ 	a:様々な情報機器に興味を持ち、積極的に活用している。 b:情報をディジタル化する利点や問題点について考え、表現に応じて適切な機器を選択することができる。 c:情報機器を正しく用いて情報をディジタル化し、文書としてまとめることができる。 d:基本的な情報機器の種類と役割を理解している。	授業観察 実習作品 小テスト 学習ノート 筆記考査 実技考査

2学期	表現と伝達	・表現の工夫 　－企画書の作成 ・表計算ソフトの利用 　－関数と引数 　－グラフの作成 ・プレゼンテーション 　－多様な表現メディアの利用 　－画像・音声の利用効果 ・Web ページの利用 　－Web サイトの制作 　－Web サイトの評価と改善	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:各種表現に使用するアプリケーションソフトを積極的に活用することができる。 b:各種表現に使用するアプリケーションソフトを適切に活用することができる。 c:基本的に亜オフィス系アプリケーションソフトを活用し、ディジタル化した情報を編修・発信することができる。 d:各種表現に使用するアプリケーションソフトの基本機能を正しく理解している。	授業観察 課題提出 実習作品 実技考査
2学期	コミュニケーションとネットワーク	・電子メールの活用 ・ネットワークの活用 ・コミュニケーション 　－発達の歴史 　－電子メール ・ネットワーク 　－インターネットの仕組み 　－インターネットのサービス 　－転送速度と圧縮	 ○ ○	○	○ ○	○ ○ ○	a:ネットワークを使用したコミュニケーション方法に興味を持ち、正しく活用しようとしている。 b:ネットワークを使用したコミュニケーションのために様々な方法を考え、目的に応じて表現や活用手段を選択することができる。 c:電子メールや共有フォルダのルールとマナーを踏まえた、適切な活用ができる。 d:インターネットやネットワークの基本的な構造を理解し、転送速度などを計算することができる。	授業観察 課題提出 小テスト 学習ノート 筆記考査 実技考査

3学期	情報社会と問題解決	・情報システムと人間 －社会における情報システム －人に優しい情報システム ・問題解決 －問題解決の手法 －問題解決の実践	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:情報社会における情報の発信者及び受信者として、情報システムに対して適切に行動しようとしている。 問題解決の手法と手段に興味を持ち、問題解決に積極的に取組もうとしている。 b:問題解決のための様々な方法を考え、目的に応じて適切な解決方法を選択することができる。 c:問題可決のための様々な技法を実践することができる。 d:基本的な情報システムを理解している。基本的な問題解決手法を理解している。	授業観察 課題提出 ワークシート 学習ノート 筆記考査 実技考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。